

歴代会長と開催地ならびに主題

回	開催日時	開催地	会 長	主 題
1	S 48. 5. 6	大 阪	川淵 純一	Spina bifida cystica, congenital hydrocephalus, 乳幼児慢性硬膜下血腫 (水腫)
2	S 49. 6. 1	神 戸	松本 悟	小児の脳・脊髄腫瘍
3	S 50. 6. 14	東 京	中村 紀夫	わが国における小児神経外科疾患の遠隔成績
4	S 51. 6. 18 ~ 19	大 阪	西村 周郎	中枢神経系における奇形の外科
5	S 52. 7. 14 ~ 15	東 京	三輪 哲郎	中枢神経系の感染症
6	S 53. 5. 19 ~ 20	岐 阜	坂田 一記	1) 小児頭部外傷 2) 小児脳血管障害
7	S 54. 5. 25 ~ 26	横 浜	桑原 武夫	1) 髄芽腫 2) 頭蓋咽頭腫 3) 小児の珍しい脳腫瘍 (症例)
8	S 55. 5. 22 ~ 23	長 崎	森 和夫	水頭症—その病態と治療—
9	S 56. 5. 28 ~ 29	千 葉	牧野 博安	小児の頭蓋内出血 (外傷性および非外傷性のすべてを含む)
10	S 57. 4. 1 ~ 2	熊 本	松角 康彦	神経外科臨床にみる小児脳・脊髄の可塑性
11	S 58. 6. 9 ~ 10	東 京	佐藤 修	小児の中枢神経系奇形
12	S 59. 5. 24 ~ 25	富 山	高久 晃	小児の中枢神経系血管病変
13	S 60. 5. 16 ~ 17	つくば	牧 豊	小児の脳腫瘍
14	S 61. 3. 26 ~ 28	高 知	森 惟明	晩発性中枢神経系先天異常
15	S 62. 3. 12 ~ 14	東 京	佐藤 潔	水頭症の基礎と臨床
16	S 63. 5. 11 ~ 13	久留米	倉本 進賢	神経管閉鎖不全症の治療法と遠隔成績
17	H 1. 5. 17 ~ 19	東 京	早川 勲	小児神経外科の進歩と課題
18	H 2. 6. 6 ~ 8	旭 川	米増 祐吉	1) 小児悪性脳腫瘍の治療はどこまで進歩したか 2) 小児のてんかんの治療
19	H 3. 5. 9 ~ 11	東 京	坪川 孝志	1) 小児水頭症—その病態と治療— 2) 小児頭部外傷—その特徴と病態—
20	H 4. 3. 25 ~ 27	鹿児島	朝倉 哲彦	1) 胎生期ならびに新生児期の神経学と神経外科学 2) 乳児の脳腫瘍 3) 乳幼児の慢性硬膜下エフェュージョン
21	H 5. 3. 31 ~ 4. 2	岐 阜	山田 弘	小児神経外科における最近の治療の進歩とその限界 1) 先天異常 2) 腫瘍 3) 血管障害 4) 新しい治療法
22	H 6. 5. 12 ~ 13	福 島	児玉南海雄	小児の中枢神経系血管障害
23	H 7. 5. 18 ~ 20	松 江	森竹 浩三	困難な中にも夢・感動のある小児神経外科 1) 小児期発症難治性てんかんの外科 2) 小児頭蓋底外科 3) 小児脳脊髄腫瘍の集学的治療
24	H 8. 5. 23 ~ 25	東 京	伊東 洋	1) 水頭症の病態分析 1. 基礎的研究 2. 臨床的研究 2) キアリ奇形にともなう脊髄空洞症・脊髄中心管水腫の病態分析 3) 髄芽腫 (PNET を含む) に対する補助療法
25	H 9. 5. 29 ~ 31	久留米	林 隆士	創造・展開, そして成長—小児脳神経外科における診断, 管理, 治療の進歩—
26	H 10. 6. 18 ~ 20	千 葉	山浦 晶	21世紀へのプロローグ「脳の発生と発達, 可塑性」「水頭症」「外傷」「てんかんの外科」ほか
27	H 11. 5. 13 ~ 15	北九州	横田 晃	脳・頭蓋の発達異常, 小児神経外科手術
28	H 12. 9. 15 ~ 17	淡 路	大井 静雄	世界視野にみた日本の小児脳神経外科学—21世紀の課題と夢—
29	H 13. 9. 6 ~ 8	静 岡	佐藤 博美	新世紀の小児脳神経外科学 Fact & Perspectives
30	H 14. 6. 6 ~ 8	旭 川	田中 達也	機能的小児神経外科の21世紀への発展
31	H 15. 7. 2 ~ 4	新 潟	田中 隆一	小児神経外科疾患の長期治療成績と脳の成長・発達
32	H 16. 5. 27 ~ 29	さいたま	西本 博	小児神経外科疾患の手術適応・治療法の再評価
33	H 17. 5. 25 ~ 27	奈 良	榊 寿右	児の明日を考えた神経外科
34	H 18. 5. 31 ~ 6. 1	札 幌	岩崎 喜信	小児神経外科における他分野との協力
35	H 19. 5. 31 ~ 6. 2	木更津	伊達 裕昭	こども達の健やかな発達と成長のために—小児神経外科にできること—
36	H 20. 5. 29 ~ 30	東 京	新井 一	新しい時代の小児神経外科
37	H 21. 6. 11 ~ 12	大 阪	坂本 博昭	トータルケアを目指した理論と実践
38	H 22. 6. 4 ~ 5	富 山	遠藤 俊郎	周産期・小児医療における脳神経外科医の役割
39	東日本大震災により学術集会中止			
40	H 24. 6. 7 ~ 8	岡 山	伊達 勲	小児神経外科疾患への手術の貢献
41	H 25. 6. 7 ~ 9	大 阪	山崎 麻美	小児神経外科の社会への貢献—すべては子どもの未来・えがおのために—
42	H 26. 5. 29 ~ 30	仙 台	白根 礼造	小児神経外科を科学する
43	H 27. 6. 12 ~ 13	山 口	鈴木 倫保	小児神経外科の現実と挑戦
44	H 28. 6. 23 ~ 24	つくば	松村 明	治療と評価—私たちのバランス, こどもたちのバランス—
45	H 29. 6. 2 ~ 3	神 戸	長嶋 達也	小児がんとしての小児脳腫瘍の治療
46	H 30. 6. 8 ~ 9	東 京	師田 信人	小児神経外科手術: 50年の歩みと挑戦・危機管理
47	H 31. 6. 14 ~ 15	新 潟	藤井 幸彦	生命と成長を見据えた小児脳腫瘍の治療
48	R 2. 11. 22 ~ 23	松 本	重田 裕明	こどもの未来をまもる 小児神経外科手術とチーム医療
49	R 3. 6. 4 ~ 5	福 島	齋藤 清	他分野との協力が拓く小児神経外科の可能性